

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

しゅの ひ



いのり _____ しかいしゃ
しとしんじょう _____ みんなで
さんび _____ さんびか 182 ばん (じゅうじかのちによりて) わたしのおうさまイエスさま (2016 ねんこどもさんび)

ゼパニヤ 1 章 2~18 節

ゼパニヤ 1:2~18 わたしは ^{かなら} ^ち ^{おもて} 必ず地の面から、すべてのものを ^と ^{のぞ} 取り除く。—— ^{しゅ} ^み ^つ ^げ 主の御告げ——わたしは ^{ひと} 人と ^{けもの} ^と ^{のぞ} 獣を取り除き、^{そら} ^{とり} ^{うみ} ^{うお} ^と ^{のぞ} 空の鳥と海の魚を取り除く。わたしは、^{わるもの} 悪者どもをつまずかせ、^{ひと} ^ち ^{おもて} ^た ^{ほろ} 人を地の面から断ち滅ぼす。—— ^{しゅ} ^み ^つ ^げ 主の御告げ—— (2~3)

みことば _____ ^{しゅ} ^ひ 主の日 _____ しかいしゃ

ゼパニヤが ^い ^{とき} 生きていた時は、^{きた} 北イスラエルが ^{ぐうぞう} ^{すうはい} 偶像崇拜をして、^{ほろ} アッシリヤに滅ぼされた ^{とき} 時でした。
^{みなみ} 南ユダは、^{おう} マナセ王と ^{おう} ^{たか} ^{ところ} アモン王が高き所でおがみ、^{かみさま} ^{れいはい} 神様に ^{しんてん} ^{ぐうぞう} ^{つく} 礼拝をする神殿に偶像を作りました。
そして、^{たいよう} ^{つき} 太陽と月に ^{おじぎ} おじぎをしました。^{かみさま} ^{こころ} ^{いた} 神様が ^{こころ} 心を痛められることをたくさんしたのです。

つぎの ^{おう} ヨシヤ王のとき、^{かみさま} 神様はゼパニヤ ^{よげんしゃ} 預言者を通して、^{たみ} ^{かみさま} ユダの民に神様の ^{つた} みことばを伝えられました。「^ち 地のすべての ^{わるもの} 悪者は、^{ほろ} 滅びる。バアルの ^{さいし} 祭司とバアルの ^{のこ} 残りの者、^{たいよう} ^{つき} 太陽と月におじぎをする者は、^{ほろ} みな滅びるようになる。^{しゅ} ^ひ ^{ちか} 主の日が近づいてきたら、^{おお} ^な ^{こえ} ^{くにじゅう} 大きな泣き声が ^{くに} 国中に ^{いっばい} いっぱいになるだろう。^{しゅ} ^ひ 主の日は ^{すぐ} すぐにやってくる」

^{わたし} 私たちは、^{かみさま} 神様の ^の ^{つた} みことばが ^{みみ} 宣べ伝えられるとき、^{かみさま} ^{ねが} みことばに ^{かたむ} 耳をかたむけて、神様が ^{ねが} 願われることを ^{えら} 選ばなければなりません。

いのり _____ ^{いっしょに} ^{おおきなこえで} いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

^{かみさま!} かみさま! ありがとうございます。かみさまの ^{みことば} みことばを ^{きく} きくとき ^{かみさまの} かみさまの ^{こころ} こころを ^{しる} することが ^{できる} できる ^{ちえ} ちえを ^{ください} ください。どんな ^{ばあい} ばあいでも ^{かみさまが} かみさまが ^{ねが} ねがわれる ^{こと} ことを ^{えら} えらぶことが ^{できる} できるように ^{たす} たすけてください。
^{イエス・キリストの} イエス・キリストの ^{おなまえ} おなまえによって ^{おいのり} おいのりします。アーメン

しゅのいのり _____ ^{いっしょに} ^{しゅのいのり} しゅのいのりを ^{いの} いのって ^{れいはい} れいはいを ^{おえ} おえましょう
フォーラム _____ ^{きょうの} きょうの ^{みことば} みことばを ^{きいて} きいて ^{パパとママと} パパとママと ^{はなし} はなしを ^{しま} しましょう

113とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

13

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

かみは かれらを

しゅくふくされた。

かみは かれらに おおせられた。

「うめよ。ふえよ。ちを みたせ。

ちを したがえよ。

うみの うお、そらの とり、

ちを はう すべての

いきものを しはいせよ。

そうせいき 1しょう28せつの みことば

かみさまの かたちを そうぞうされた ひとは ぜんちを おさめて
せいふくしながら かみさまに れいはいする とき まことに
しあわせです。それを わすれてしまった ユダの おうさまと
たみは ぐうぞうすうはいをして かみさまの まえに おおきな
つみをおかしました。 かみさまと ともにいる しあわせな
わたしを かんがえながら えに あう ぶぶんを つぎのページから
きりにとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ

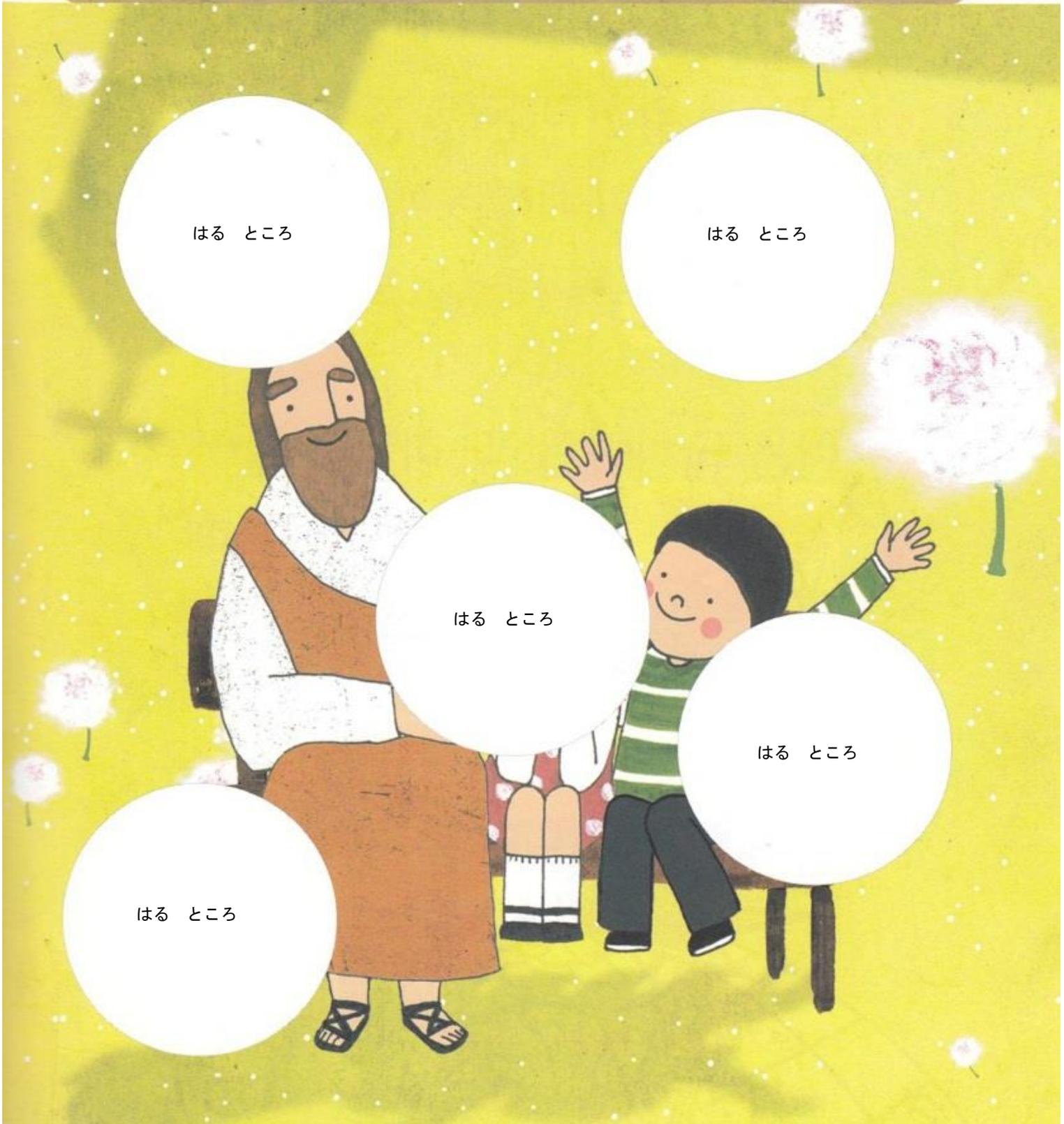
はる ところ

はる ところ

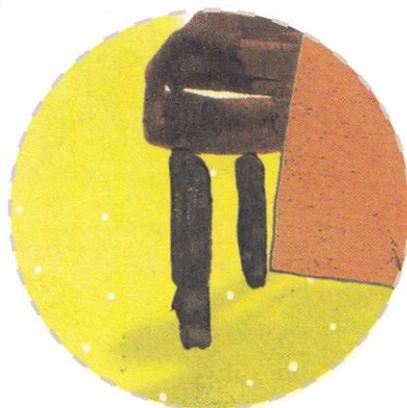
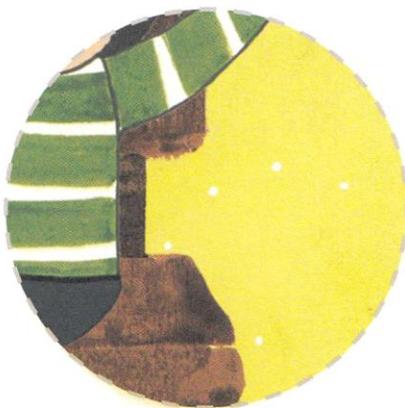
はる ところ

はる ところ

はる ところ



ふろく まえの ページで つかいましょう



かくしんの ないようを こころに きざみましょう

15

すいようび

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばの なかに ある じゅうような たんごを
もういちど かんがえてみましょう。
したに ある たんごから みつけて かきましょう。

マナセおうと アモンおうは
かみさまに れいはいする しんでんに
 をつくりました

つぎの ヨシヤおうの とき かみさまは
 よげんしゃを とおして
かみさまの みことばを つたえられました

は
すぐに やってくる

<いれる ことば>
ゼパニヤ めうぞう しゅの ひ

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

16

もくようび

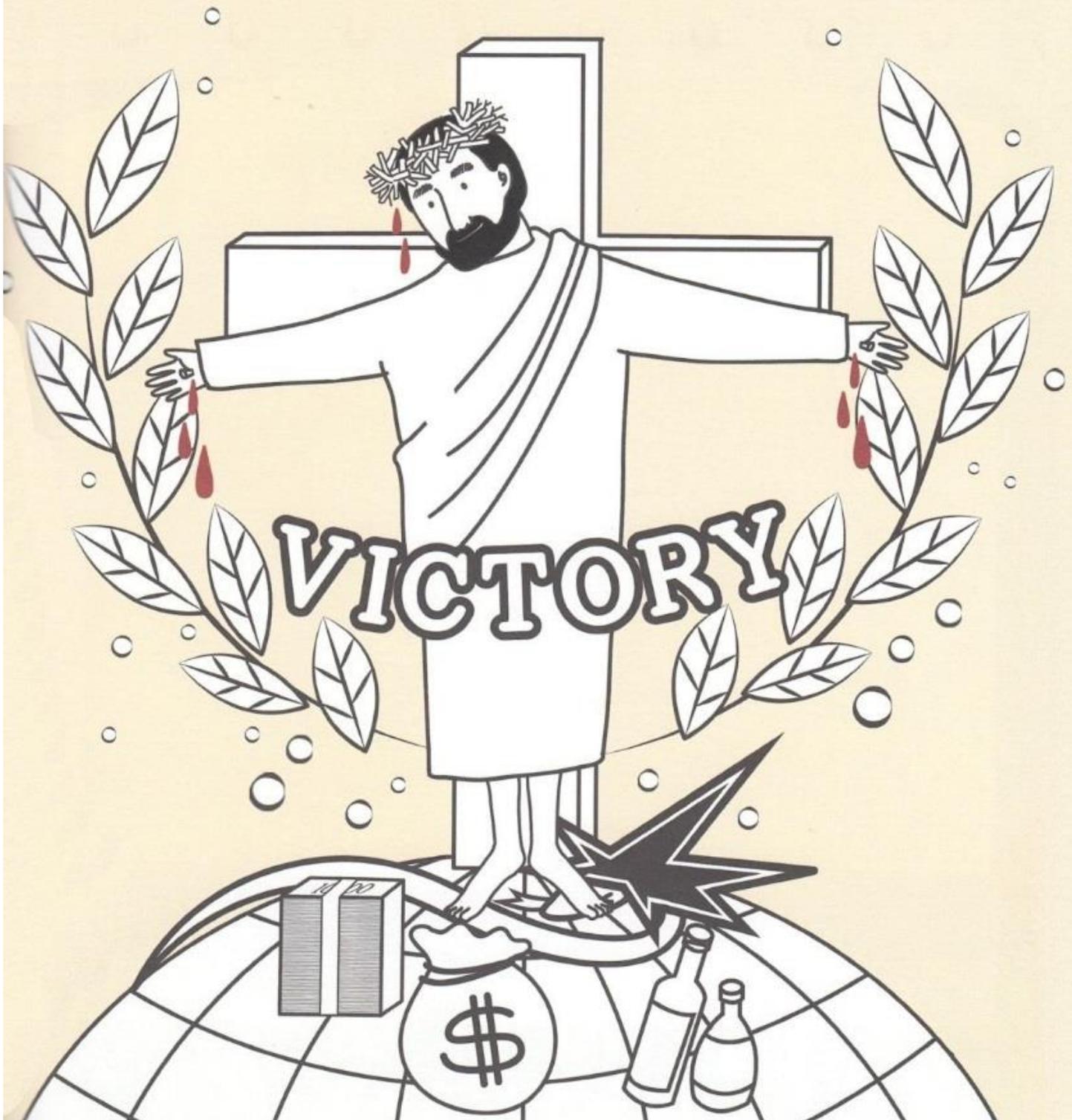
かみさまに あう みちは ただ ひとつの みち！

イエス・キリストだけです。

わたしの まことの よげんしゃ まことの さいし まことの おう

である イエス・キリストを ふかく かんがえながら

いろを ぬりましょう。





ひそひそ

パパとママと 一緒に おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

かみさまの みことばが のべつたえられる とき みことばに
みみを かたむければ かみさまが よろこばれることを
えらぶことが できます。 かみさまの みことばに みみを
かたむけて きく かぞくに なるように いのりながら えで
あらわして みましょう。



17

きんようび



ワーク

びん
びん

たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
こころに きざみましょう

18

どうび

だいすきな かぞくや ともだちの なかに かみさまを しらない
ひとは いますか。 パパとママと いっしょに かみさまに
あってほしいと おもう ひとに ついて はなしを して
おいのりしましょう。 したの 「いのちの しょ」に
えを かいたり しゃしんを はって いのりましょう。

じゅんぴする もの：はさみ、のり、つぎのページの え

いのちの しょ

まえの ページの ワークに つかいましょう

★ふろく★

